

シンポジウム 熊本県沿岸域再生の現状と展望

～研究集大成「八代海再生へのシナリオ」刊行の報告と討論会～

日時：令和元年8月19日(月)11時～16時 場所：熊本県立劇場大会議室

プログラム

挨拶 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム議長 崎元達郎氏・NPO法人みらい有明不知火理事長 滝川清氏

◆午前の部 11:10～12:00 「八代海再生へのシナリオ」出版報告

NPO法人みらい有明不知火理事長 滝川清氏、理事 川岸寛氏

◆午後の部 13:00～16:10 討論会：パネルディスカッション「熊本県沿岸域再生の現状と展望」

第1セッション 13:00～14:30 「海の再生への取り組み事例」

①「環境省の取り組み」環境省九州地方環境事務所環境対策課長 森奇幸氏

②「八代海及び有明海の再生に向けた熊本県の取り組み」

熊本県環境生活部環境局環境立県推進課長 財津和宏氏

③「海洋環境整備船「海輝」「海煌」の取り組みについて」

国土交通省九州地方整備局熊本港湾空港整備事務所副所長 山口誠氏

④「球磨川河口域・汽水域におけるヨシ原の再生について」

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所河川環境課長 山本恭裕氏

⑤「荒尾干潟の魅力を広げていくための取り組み」荒尾市環境保全課副主任 中山和也氏

⑥「荒尾干潟の生物多様性研究とアウトリーチ活動」熊本県立岱志高等学校理科部 秋富健吾君・塚寄歩美さん・原田龍徳君・藤末改君、顧問：松浦弘氏・小林奈都子氏

⑦「アマモ場造成に向けた農業気象学の役割～芦北高校林業科アマモ班との連携で始まる取り組み例」

株式会社アグリライト研究所代表取締役 園山芳充氏

⑧「干潟生物調査を通じた環境教育と地域興し」ひのくにベントス研究所所長 森敬介氏

第2セッション 14:40～16:00 「パネルディスカッション」

コーディネーター「シンポジウムのねらいと海の再生について」

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム顧問 古川徳太氏

午前の部は、我が国で最も閉鎖度が高く、有明海同様に環境劣化が著しいにもかかわらず、殆ど研究が進んでいない「八代海」を対象として、この海域が抱える「環境問題」と「防災問題」の緊急かつ重要な地域課題に対し、これまでの多大な研究実績に基づき展開した、文部科学省特別経費（プロジェクト分）「生物多様性のある八代海沿岸域環境の俯瞰型研究プロジェクト（平成23年度～平成27年度）」の研究成果を中心に、“八代海の真の再生”に資するために、具体的な再生の技術、再生の対策及びその展開の一連のシナリオを提示した「八代海再生へのシナリオ」の紹介です。

午後の部では、海域環境の再生のために熊本県沿岸海域で行われている様々な取り組みを発表いただき、なぜ沿岸海域が再生しないのか！ 再生のためにはどのように考えれば良いのか、何をすれば良いのか！といった点について、皆様と一緒に考え、今後、熊本県沿岸海域の環境再生を進めて行くための施策のコンパスを提言としてまとめたいと思います。



場所：熊本県立劇場 BF 大会議室
〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江2丁目7番1号
TEL：096-363-2233 FAX：096-371-5246

共催：熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム/NPO 法人みらい有明不知火/熊本県測量設計コンサルタンツ協会 予定・ほか検討中

実行委員会：熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム企画運営委員会

【議長・監事・熊本大学名誉教授・熊本大学理学部准教授・熊本高等専門学校八代キャンパス准教授・崇城大学学長・東海大学九州キャンパス熊本教養教育センター主任教授・国土交通省熊本港湾空港事務所長・環境省九州地方環境事務所環境対策課長/野生生物課長・熊本県環境立県推進課長/水産振興課長/水産研究センター長・八代市市民環境部環境課長/農林水産部水産林務課長・荒尾市産業建設部農林水産課長/市民環境部環境保全課長・熊本県漁業協同組合連合会指導部長・NPO 法人みらい有明不知火理事長・やつしろ里海ネット代表・熊本県測量設計コンサルタンツ協会専務理事・熊本県漁港建設協会支部長・熊本県港湾建設協会会長・八代海湾奥環境改善保全シナリオづくり及び再生策検討PT 長・活動PR 戦略PT 長（オブザーバー：農林水産省九州漁業調整事務所資源課長・九州農政局農村振興部地方参事官・国土交通省八代河川国道事務所副所長）】